

第21表 耐久消費財の普及状況

(昭38)

	福 島		山 形	秋 田	仙 台	盛 岡	青 森
	順 位	指 数					
機 庫	2	58.9	59.4	54.2	56.2	44.8	50.0
濯 洗	1	59.4	53.1	37.5	44.8	41.7	51.0
機 庫	3	39.9	38.5	25.0	34.4	24.0	25.0
機 庫	2	29.2	32.9	17.7	25.0	29.2	22.9
レ 蓄	2	89.6	88.5	91.7	87.5	84.4	88.5
レ 蓄	1	25.0	13.5	6.9	19.8	12.5	16.7
レ 蓄	2	12.5	15.6	9.4	11.5	6.3	11.5
レ 蓄	3	11.5	13.5	10.4	10.4	6.3	14.6
オ ノ	1	81.9	71.9	75.0	80.0	72.9	75.0
オ ノ	3	41.7	36.5	45.8	36.5	39.6	53.1
オ ノ	2	4.2	3.1	5.2	2.1	2.1	4.2
オ ノ	2	50.0	49.0	45.8	47.9	43.8	52.1
機 ス	4	3.1	4.2	2.1	5.2	2.1	4.2
機 ス	3	93.7	97.9	100.0	92.7	93.7	93.7
機 ス	1	65.6	44.8	47.9	57.3	52.1	56.2
機 ス	4	44.8	60.4	33.3	63.5	51.0	41.7
つ 機	2	44.8	45.8	30.2	41.7	40.6	37.5
つ 機	1	52.1	39.6	25.0	40.6	25.0	22.9
つ 機	5	7.3	13.5	9.4	8.3	7.3	16.7
つ 機	2	14.6	14.6	6.3	17.7	8.3	13.5
車	2	83.3	87.5	78.1	69.8	83.3	83.3
車	1	13.5	7.3	13.5	12.5	5.2	5.2

第51図は、勤労者世帯の雑費の品目別支出内訳の構成比について、国、県の比較をしめたのものである。外側は国、内側は県の構成比である。

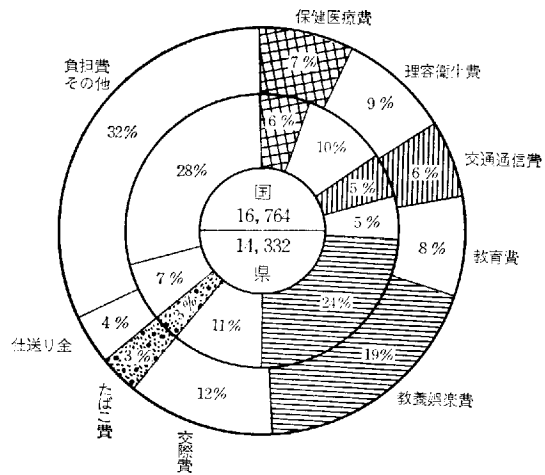
国の構成費より小さい品目は、保健医療費、交通通信費、教育費、交際費などで、もっとも格差の大きいのは、教育費であることは注目すべき問題である。

つぎに、国の構成比より大きい品目は、教養娯楽費と仕送り金である。とくに教養娯楽費は国の19%に対し、本県は24%と異常に大きな比率をしめている。

教養娯楽費が、どのような支出がなされているかは、十分吟味を必要とする問題である。いまその実態を伺うことのできる第52図についてみよう。

東北六県の県庁所在都市の生活水準を示すものであるが、実収入指数は、東北六県中4位である

第51図 勤労者世帯の月間消費支出の雑費支出国県比較 (39年6月)



(注) 内側円は県分を示す